

四半期別資金循環の速報

— 昭和35年7～9月期 —

四半期別金融取引表 (35年7～9月期)

(単位・億円)

区 分	金 融		日本銀行		市中金融		政 府		外為資金		公 社 公 団 お よ び 地 方 公 共 団 体		法 人 企 業		個 人		海 外		合 計	
	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債
通 貨	215	1,055		69	329	1,100	14	272			-147		430		815				1,327	1,327
(現金通貨)	(215)	(- 43)		(- 43)	(215)		(20)	(30)			(2)		(- 23)		(- 227)				(- 13)	(- 13)
(当座性預金)		(- 236)		(112)	(114)	(-234)	(- 6)	(81)			(5)		(-144)		(- 10)				(- 155)	(- 155)
(短期性預金)		(1,334)				(1,334)		(161)			(-154)		(597)		(1,052)				(1,495)	(1,495)
政府当座預金		- 36		- 36			- 36		- 19										- 36	- 36
貯蓄性預金		3,649				3,649		231			244		1,554		2,082				3,880	3,880
信託・保険		393				393		307			6		155		539				700	700
有 価 証 券	755	1,179	- 305		1,060	1,179	1,176	280		260	- 6	344	407	1,298	769				3,101	3,101
(短期証券)	(- 308)		(-308)				(661)	(355)		(260)	(-6)		(8)						(355)	(355)
(公 債)	(26)		(3)		(23)		(- 1)	(-113)				(38)	(1)		(-101)				(- 75)	(- 75)
(社 債)	(267)	(590)			(267)	(590)	(,494)	(38)			(,306)	(300)	(347)	(220)					(1,281)	(1,281)
(株 式)	(763)	(83)			(763)	(83)	(22)					(87)	(951)	(162)					(1,034)	(1,034)
(投資証券)	(7)	(506)			(7)	(506)							(11)	(488)					(506)	(506)
日銀貸出金・借入金	12	12	12			12													12	12
貸出金・借入金	5,757				5,757		534				60		5,602		629				6,291	6,291
(市中貸出金)	(5,757)				(5,757)					(15)			(5,288)		(454)				(5,757)	(5,757)
〔割引手形〕	[1,989]				[1,989]								[1,722]		[267]				[1,989]	[1,989]
(政府貸出金)							(534)				(45)		(314)		(175)				(534)	(534)
政府預託金		453				453	453	134	72	230	134								587	587
企業信用												4,960	4,071		889				4,960	4,960
その他	348	8	146	12	292	86	- 8					15	217	423	104	215			661	661
外貨準備高	301		301				445		435										746	746
外国為替等	374	233			374	233							57				290	374	664	664
その他対外債権債務		565		10		555	37	- 38	9	- 5	5	172	125				657	209	866	866
資金過不足(-)		251		99		152		1,429		12		-193	-3,681		2,576		-382		0	0
合 計	7,762	7,762	154	154	7,812	7,812	2,615	2,615	497	497	231	231	7,895	7,895	4,309	4,309	947	947	23,759	23,759

(注)

1. 部門構成

- (イ) 金融部門は①日本銀行と②市中金融部門の2内訳部門の統合部門であって、このうち市中金融部門には全国銀行・同信託勘定・相互銀行・信用金庫・商工中金・農林中金が含まれる。
- (ロ) 政府部門はその構成単位の活動機関によって、①外為資金、②資金運用部、③政府金融機関、④政府一般部の4内訳部門に分れるが、ここでは紙面の制約から外為資金を掲示するとどめる。

2. 取引分類

- (イ) 当座性預金………当座預金・郵便振替貯金。
- (ロ) 短期性預金………普通預金・通知預金・別段預金など。
- (ハ) 貯蓄性預金………定期預金・定期積金など。
- (ニ) 政府預託金………内地指定預金・外貨預金・農中前渡金・公社の国庫預託金など。
- (ホ) 資金過不足(-)………これは各部門の金融取引尻であり、資金不足(金融負債純増)は非金融取引面における投資超過に、資金余剰(金融資産純増)は貯蓄超過にそれぞれ対応する。海外部門の動きはわが国の国際収支を相手国の立場からみたもので、その資金不足はわが国の国際収支が受超(輸出超過)であることを示す。